



くわのみ

第2回 みんなのレク大会 in KUWANO 10月5日(日)開催 椎根市長も出席

1 今までの歴史

桑野地区市民体育祭は昭和47年から、市民球技大会は、翌昭和48年から開催。当時は、町内会数も多く、市民の交流の場として盛り上がっていました。しかし、町内会の区割りや統廃合により、桑野地区の町内会数が徐々に減少。また、平成30年くらいよりソフトボール、バレーボールの参加チームが減少。第46回～第48回までの3年間はコロナのため中止となりました。令和5年第49回からは、ソフトボール・バレーボール・グラウンドゴルフの3種目をグラウンドゴルフに1本化し、球技大会を実施しました。1本化した球技大会・グラウンドゴルフにはこどもたちも多く参加し、盛り上がりを見せました。また、市民体育祭もコロナの中止を経て、令和5年、市民体育祭を再開しましたが、町内会の参加者が減少、役員や選手の選考も町内会長が苦慮し、運営面に支障をきたすようになってきました。

2 令和6年第1回みんなのレク大会 in KUWANO がスタート

この年、町内会長や役員が参加した運営委員会で協議し、球技大会と市民体育祭を1つにまとめ、「みんなのレク大会」としてスタート。種目については、桑野地区の住民にアンケートを取り、ボッチャ・フラフープ・輪投げ、玉入れとしました。従来までテントを張ったり、サッカーゴールを動かしたり、校庭にラインをひいたりするなどの作業もなくなり、準備等も含めて運営がコンパクトに。運営スタッフも、桑野地区明るいまちづくり推進委員会スポーツ・レク部員、子ども会会長・役員のみで開催できるように大幅な改善を図りました。

3 第2回みんなのレク大会を開催して

1回目から連合会加入の全町内会が参加しました。2回目はボッチャなど複数チームの参加数も増加。こどもたちから高齢者まで、交流を深めながら楽しそうにプレーする姿が随所に見られました。参加者や役員の声も「よかった」「楽しそうだった」「参加してみて楽しさがわかった!ほかの人参加すればよいのに」「多くの人に広がって、地区の祭りのようになればいい…」などの声が聞かれ、好評でした。1回目から継続して郡山市長も開会式に出席して、桑野地区の活発な活動を参観してもらうことができました。

※レク大会の様子は、桑野地域公民館 Instagram をご覧ください。

新規事業「親子スナッグゴルフ教室」7月と9月 計6回開催

ローレルバレーカントリークラブ、コッレモゴルフにて



ローレルバレーカントリークラブの支配人はじめスタッフの全面的な協力があり、コースや練習場、ラウンド前のパター練習など、こどもたちにとって、とても恵まれた環境での講座開催でした。2 回とも最後には、コースラウンド。乗用カートを最大6台も使用させていただき、親子でのラウンドを満喫しました。参加者のアンケートの声を紹介します。

- 栗西プロの教え方がとても分かりやすく、みんなで楽しくできました。こどもたちだけではなく、大人も上達しました。(1 回目参加者)
- ゴルフのルールやスイングなど簡単にわかりやすく体験して覚えられました。(1 回目参加者)
- プロによる指導とゴルフ場を使っのレッスンがとても良かったです。(2 回目参加者)
- 今回とても楽しく学びました。継続的に企画していただけると嬉しいです。(2 回目参加者)

男のわいわい塾「健康」「生きがい」「仲間づくり」「地域とつながる」

4 回目は、『健康のための運動講座』

講師：松井 定子さん



みつけたらよんでみよう おすすめの絵本 筆：たかみや みちこ

世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ

編：くさば よしみ 絵：中川 学



『わたしは、自分を 貧しいとは思っていない。いまあるもので 満足しているだけなんだ。』

この絵本は、2010年から2014年まで第40代ウルグアイ大統領を務めたホセ・ムヒカさんが、2012年ブラジルで行われた国連会議の中で話したスピーチを、子どもたちにもわかりやすい言葉で意識して、発刊されたものです。

『 貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、
限りなく多くを必要とし、もっと もっと 欲しがることである 』

温かみのある絵にムヒカさんの伝えたい言葉や思いがあちこちに込められています。発展することで豊かになるが、それだけにとらわれていると大事なものが見えなくなってくる。本当の豊かさとは何か、人は本来何を大切にしないといけないのかを考えるキッカケを与えてくれる絵本となっています。

子どもだけではなく、大人の方もみつけたら、ぜひ、ホセ・ムヒカさんの心に触れてみてください。

「世界で いちばん 貧しい 大統領のスピーチ」では、演説を子どもにもわかりやすくしたものになりますが、「世界で いちばん 貧しい 大統領からきみへ」では、ホセ・ムヒカさんの生き方や考えなど取材された内容がもう少し詳しく知ることができます。

4コマ漫画担当

渡部 義勝さん

